

病害虫防除技術情報第 7 号

平成 29 年 7 月 19 日

三重県病害虫防除所

斑点米カメムシ類の発生に注意し、斑点米の発生を防ぎましょう。

1. 対象作物:イネ

2. 対象病害虫名:斑点米カメムシ類

3. 発生状況:やや多

(1)巡回調査(7月第2週)における、畦畔イネ科雑草の20回振すくい取り調査では、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメが多く捕獲されました。また、斑点米カメムシ類合計の発生地点率は62.4%(平成48.7%)と平年に比べて多い状況でした(表)。

(2)クモヘリカメムシは発生地点率5.1%(平成6.7%)、すくい取り成幼虫数0.4頭、(平成0.5頭)とやや少ない状況でした。しかしながら、クモヘリカメムシが登熟初期に多発して籾を加害すると、不稔となることが知られており、注意が必要です。

(3)広域防除員調査(7月1日~9日)によると、雑草の多い畦畔でホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類が多く捕獲され、アカスジカスミカメ、ミナミアオカメムシの活動が確認されています。

(4)1か月予報(7月13日・名古屋地方気象台発表)によると、平均気温が高い確率が60%で、斑点米カメムシ類の増殖に助長的です。

表 畦畔イネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(2017年7月、20回振すくい取り)

調査年	調査地点数	主な虫種													
		斑点米カメムシ類合計		ホソハリカメムシ成幼虫		クモヘリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカスミカメ成虫		アカヒゲホソドリカスミカメ成虫		ミナミアオカメムシ成幼虫	
		発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数
2017年	117	62.4	52	13.7	02	5.1	04	16.2	02	51.3	39	14.5	05	0.8	0009
平年値		48.7	49	22.5	05	6.7	05	10.2	02	29.1	35	9.0	03	2.7	01

4. 防除上の注意事項

(1)出穂期まではイネ科雑草の穂を餌として増殖し、イネが出穂すると成虫が圃場に侵入して、イネの穂を加害します。また、成虫が圃場内で産卵すると孵化した幼虫も加害するため、被害が大きくなります。

(2)斑点米カメムシ類は一般的に移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。

(3)出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。